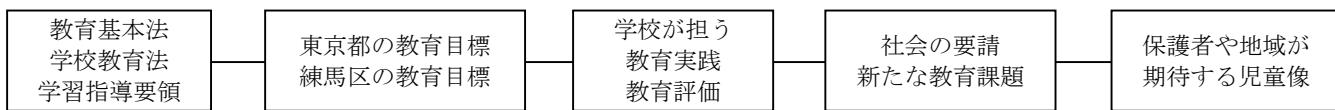


<学力向上を図るための全体計画>



本校の教育目標

人と自然を大切にする

○元気な子 ○考える子 ○仲よくする子

今年度の学校経営計画

〔中期経営目標〕：6年間の系統性を踏まえた授業実践により、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、指導方法および評価の改善を図る。

〔今年度の目標〕①授業研究を通して、教員の授業力の向上を図る。

②基礎的・基本的な学力の確実な定着・伸長を推進する。また、言語活動を指導に位置付けるとともに、各教科・領域で培った知識・技能を「生活科」「総合的な学習の時間」等に活用する。

③新型コロナウイルス感染症への対策を図りながら、指導計画の作成や学習活動の工夫を行う。

〔具体的な方策〕①年間指導計画に基づいた授業デザインの工夫

②OJTを踏まえた授業公開の推進

③指導と評価の一体化（授業・単元のゴールを明確にした指導）

④ICT活用の充実（校内研究によるICTを活用した指導の研究と、校内体制の整備）

⑤学習規律、基本的な生活習慣の指導を共有

⑥読み・書き・計算の反復練習を中心とした家庭学習

⑦道徳教育全体計画に基づく実施と評価

⑧「授業改善推進プラン」を共有し、授業実践と各教科・領域の指導・評価計画の定期的な修正

各教科の指導の重点

- ・主体的・対話的で深い学びの推進
- ・習熟度別学習・課題解決学習、体験的な学習等の指導の工夫
- ・児童一人一人の能力や可能性の伸長と、個に応じた指導の充実
- ・個別最適化の概念から、基礎基本の定着、家庭学習習慣の確立
- ・図書館の利用、読書活動の充実
- ・体力向上、健康の保持増進

総合的な学習の時間の指導の重点

- ・教科の学習で身に付けた知識や技能を関連付けた指導
- ・生活の中で活用できる力の育成
- ・地域の自然環境や人材を活用した体験的な活動の重視
- ・国際理解教育・環境教育・福祉教育の充実、情報モラル教育の推進

特別活動の指導の重点

- ・一人一人が互いに認め合う自主的・実践的な態度の育成
- ・異学年(きょうだいグループ)活動での協力と助け合い

本校における確かな学力

- 学習指導要領に示されている各教科の知識及び技能の習得と活用
- 粘り強く活動に取り組み、自らの學習を調整しようとする態度
- 課題設定および解決能力
- 自ら考え、自ら調べ、まとめる力
- 自分の考えを表現する力

学ぼうとする意欲

学ぶ力

身に付けた力

学んだことを活用する力

道徳教育の指導の重点

- ・全教育活動を通して生命や人権等を尊重する態度の育成
- ・人間として心豊かに生きようとする道徳的実践力を育む
- ・交流活動や自然体験活動、道徳的価値観の形成
- ・道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成

外国語活動・外国語科の指導の重点

- ・ALTと連携した指導
- ・英語を用いたコミュニケーションの基礎となる資質・能力の育成

生活指導の重点

- ・基本的な生活習慣の定着
- ・自主的・自立的な生活態度の育成
- ・教育相談や個に応じた指導の充実
- ・特別支援教育の推進

キャリア教育の重点

- ・キャリアパスポートの活用
- ・自他の大きさに気付き、積極的に他者と関わろうとする態度の育成

本校の授業改善に向けた視点

指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	幼保小連携・小中一貫教育の重点
<ul style="list-style-type: none"> ・算数科における習熟度別指導による基礎・基本的な学習内容の定着 ・個に応じた指導の工夫 ・学力向上支援講師の活用 ・主体性を育む授業の工夫 ・授業のめあてと振り返りを明確にした授業づくり ・ALTとの連携 ・ICTの効果的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の精選 ・時間割の工夫による授業時数の確保 ・朝学習の実施 ・読書旬間の設定 ・新型コロナウイルス感染症への対策を踏まえた指導計画の作成 ・教科担任制による指導の充実と効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学びの実現～使おうICT！深めよう学び！～」を主題とした校内研究の推進 ・外部の研修への参加、情報の共有 ・OJTの計画的推進 ・全教員による授業公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査等を用いた児童の実態調査と指導の改善 ・教科等の評価計画の改訂 ・児童による学校アンケートの実施と活用 ・保護者や学校評議員による評価の活用 ・PDCAによる指導の振り返りと改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育関係機関との連携 ・地域を活用した体験的な活動の場 ・地域の社会福祉施設や幼稚園等との連携 ・学校評議員の授業参観および諮詢 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣幼稚園、保育園との交流 ・大泉西中学校区での研究(課題改善カリキュラム、) ・教師間の相互交流を通じた児童の実態把握と系統的な学習指導、生活指導の充実

検証方法…教員の自己評価の実施(年2回)、児童・保護者による学校評価(年1回)の実施、授業中の行動や発言の観察、ノートやプリント・学習カードの記述、作文・新聞などの作品や実技の様子、ワークテストや小テストの結果を見取る。